

保護者の皆様へ

廿日市市立四季が丘小学校  
校長 永野 真

## 令和7年度学力定着状況調査の結果について

早春の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、日頃の単元末テストでは計れない児童の学力の定着状況を分析し、個に応じた支援及びさらなる定着を図るという目的で、1月に実施しました「令和7年度学力定着状況調査」の結果についてお知らせいたします。

国語科		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	四季小	76.8	79.1	72.4	69.9	73.2	69.1
	全国	74.9	79.3	76.7	70.4	69.1	70.8

算数科		1年	2年	3年	4年	5年	6年
正答率 (%)	四季小	79.6	73.1	71.4	73.9	64.3	70.1
	全国	78.6	71.3	72.7	65.7	62.0	73.1

## 【国語科】

国語科では、基礎の部分で全国平均を下回る学年が多く、言葉を正しく捉えていないため、正確に文章を読み取ったり記述したりすることに課題があることが分かりました。

学校では、ICTを活用し、フラッシュカードやクイズなどの問題に取り組み、言語や漢字の定着を図り、語彙力を高めます。また、引き続き校内で読書の推進を図り、文章に慣れ親しめるようにします。また、話す・聞く力を高めるために、各教科を通して、児童同士の交流場面を仕組み、話型をヒントにししながら、自分の意見を話したり、相手の話を聞きとったりする場を設定していきます。

## 【算数科】

算数科では、今年度の取り組みの成果で、図形領域に伸びが見られました。年間を通してフォローアップタイムでタングラムに取り組んだり、算数で使う言葉を全学年で統一したり、作図に丁寧に取り組んだ成果だと考えられます。

学校では、これからも前学年までに学習したことを参考に想起させながら課題に取り組みせ、具体物の操作活動を積極的に取り入れたり、文章題を絵や言葉で表したりするなどイメージ化を図る指導を行い、基礎学力の定着を図ります。また、計算などは反復練習を行うと共に、図や式を大切にしながら、自分の考えを自分の言葉で説明させる場を設定し、指導していきます。

今後の学校の取り組みとして、基礎学力の向上に加え、ICTを使って協働的に学び合う場や、他者の考えを取り入れて自分の考えを深めたり、自信をもって自分の考えを伝えたりする場の設定方法などを研修し、実践していきます。また、児童の主体的な態度を育てるために、生活経験に根差した課題や児童の興味関心に基づいて「児童も教師もわくわくする」授業の単元名や単元設定を行います。学習に見通しをもつとともに、自分で選択・決定することで、児童が安心し、「わかった」「できた」の体験を積み重ね、児童の自信につなげていきたいと考えています。課題が明らかとなった項目については、類似問題に取り組むなど、今年度中にさらなる指導を行い、次年度へつなげます。

本日配付した「個人票」には、国語科・算数科の教科別の正答率(%)と評価、観点別評価のグラフが掲載されています。特に、観点別評価のグラフからは、お子様の得意な領域・課題のある領域が一目で分かります。よいところは自信をもってさらに伸ばし、課題となっているところは意識して重点的に取り組むなど、今後の家庭学習の参考にして下さい。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。